

## はじめに

皆様におかれましては、日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。今年度も学校保健会編集委員のご尽力により、「いびの子のからだ」第72号が刊行されました。

揖斐郡におきましても、全国的な少子化の波は避けられず、複式学級の設置や学校の統廃合が現実の課題となっています。こうした変化は単に教育体制の再編を意味するだけでなく、子どもたちの学びや生活環境、さらには地域社会のつながりにも大きな影響を及ぼします。児童生徒数が減少する中だからこそ、一人ひとりの健康や成長をこれまで以上に丁寧に見守り、支えていくことが必要です。

「いびの子のからだ」は、疾病・発育状況・体力テストなどの客観的なデータを通して、子どもたちの現在を把握する大切な資料です。今後、学校の形が変わっていくとしても、このような資料を基盤として、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの心身の健康を守り育む取り組みを継続していくことが何より重要です。

少子化という社会的課題の中でも、子どもたち一人ひとりの未来は地域の未来そのものです。本冊子が、その健やかな成長を支えるための道しるべとなることを願っております。

最後になりましたが、発刊にあたりご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和8年2月

揖斐郡学校保健会  
副会長 金森 豊